

平成30年度「山地災害防止キャンペーン」活動報告

東京都は「山地災害に備える」を合い言葉に、林野庁の指導の下、関係機関の協力を得ながら、山地災害による被害を未然に防止するための「山地災害防止キャンペーン」を毎年実施しています。

6月末をもって今年度のキャンペーンが終了しましたので、キャンペーン中に行った活動の内容を報告します。

1. 目的

近年、山地の崩壊・土石流・地すべり等の山地災害が多発し、人命・財産に甚大な被害が及んでいます。山地災害防止に対する都民の理解と関心を深めるとともに、山地災害に対する危機管理体制を強化するため、本格的な梅雨期を前にして山地防災に関する情報収集活動の強化、山地災害危険地区等の周知徹底、避難体制の整備等に寄与する取組を推進し、地域住民の皆様の防災意識の高揚に資することを目的としています。

2. キャンペーン期間

平成30年5月20日から6月30日まで

3. 平成30年度 山地災害防止標語

『爪跡を見て知る 治山の大切さ』

4. 実施主体

東京都、多摩地域の市町村

5. キャンペーン活動報告

(1) 広報活動の推進

ポスターの掲示により、山地災害の未然防止に関する広報活動を行いました。



(写真1)

森林事務所でのポスター掲示

また、青梅市及び奥多摩町のホームページ内に、山地災害危険地区情報のリンクを貼って頂きました。

(2) 山地防災情報の周知活動の強化

奥多摩町および八王子市において、地域住民に向けて工事計画や完了工事の説明を行い、山地防災情報の周知を図りました。

(3) 山地防災パトロール等の実施

多摩地域の2市2町1村において、危険度ランクの高い山地災害危険地区について、市町村担当者と合同で調査を行い、予防治山事業の必要性を検討しました。



(写真2)

山地災害危険地区の調査



(写真3)

山地災害危険地区の事業検討

《参考》

林野庁ホームページ「山地災害に備える」

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/saigai/saigai/index.html>

東京都森林事務所ホームページ「山地災害危険地区」

<http://www.forestry-office.metro.tokyo.jp/hazardmap/index.html>